HONKYTONK HARMONICA

ホンキートンク ハーモニカ

目次

はじめに ・・・

はじめに

本製品をお買い上げいただきありがとうございます。きっと、本製品をご堪能いただけると思います。

すぐにでも使い始められるように、このマニュアルで本製品のあらゆる面をお見せします。

アーティキュレーションとサンプル

本製品は、弊社のSENSUAL　SAXにインスパイアされた、ブルージーなレガート／マイクロフレーズ・サンプルのセットと、多くのアーティキュレーションを持つ本格的なバーチャル・インストゥルメントとして収録／制作されました。機敏かつリアル、透明感を持ち、スピードに対応するノーマル (すなわちごくふつうな) レガート・トランジションを基本部分とし、スローで表情豊かなメロディーにも、高速で技巧的なパッセージにも完璧に対応します。表現力を高めるためにブルージーなレガート・トランジションを時々使用することを想定しているため、ループなしのサンプルを収録しています。レガート・トランジション以外に、楽器のリアリズムを高める装飾的なサスティンとリリースのセットを多数収めました。つまりベンドイン・アウト、グリス (イン・アウト) 、トレモロ、そして完璧なメロディーを形作るためのリリースです。

Sustain	ノン・ビブラートとビブラートのバリエーションがあり、美しいループ・サンプル。
Legato	4オクターブ以上、約2,000のレガート・トランジション。サンプルは一つ一つ編集され、タイミングが調整され、自然につながります。normal (ノーマル) レガートはループで、リリカル (クロマチックハープ・スタイル) な演奏にも、速く技巧的な演奏に向きます。bluesy (ブルージー) レガートは、派手な演奏をするためにループなしで設計されており、より多様なスタイルや長さを持っています。
Staccato	ベロシティ別のShorts。normal (ノーマル；低速) 、bend in (ベンドイン；高速) の2種類。
Gliss	KS (キースイッチ) またはベロシティ・スレッショルドでトリガーされ、高速アルペジオのアタックの後に通常のサスティンを続けるような奏法です。
Bend In	KS (キースイッチ) またはベロシティ・スレッショルドでトリガーされ、このハーモニカらしさ溢れるアーティキュレーションは、ターゲット・ノートの半音／全音下から始まるベンド奏法です。
Fall	KS (キースイッチ) のみでトリガーされ、ベンドアウトともいえます。ピッチベンドと、完全5度下がるジェスチャーの組み合わせです。
Trill	短3度と長3度のトリルを収録し、progressive (加速) とconstant (等速) のバリエーションがあります。
Release	音を離すと、アンディが自然に音を止める様子が短いサンプルで聞けます。

アンディ (Andy John) : 本製品の収録にあたり演奏と助言を行なったハーモニカ奏者。

ユーザー・インターフェース

MAIN (メイン) ページ

演奏上で重要なコントロールは、トップ・ページに配置。これらは、入力中にリアルタイムで操作するのに役立つと思われる要素です。Dynamics (ダイナミクス) , Vibrato Mode (ビブラート) , Articulation (アーティキュレーション・カテゴリー) 、そして右側にいくつかのFXが配備されています。

CHUGGER (チャガー) ページ

楽器の音域外 (KS (キースイッチ) の音域外) のMaj/Minトライアド (三和音) を演奏すると、Andy Johnによるチャギング (コードで構成されたフレーズの演奏) がループ再生されます。7つのフレーズが用意され、すべてテンポ同期済み。ブルージーなあなたの作品にすぐに使用することができます。

CONFIGURE (設定) ページ

CC (MIDI CC；コンティニュアス・コントローラー) ／KS (キースイッチ) のアサインやサンプルのパージ、サンプルのリリース・オン／オフ、キースイッチ以外のアーティキュレーションのベロシティ・スレッショルド、レガート反応スライダーなど、設定ページには各種の設定が用意されています。

MAIN (メイン) ページ

① 情報ページ

基本的な説明、演奏、エンジニアリング、プログラミング、デザインの各クレジットが掲載されています。

② Dynamics (ダイナミクス)

ここに割り当てられたCCを調整すると、このスライダーがリアルタイムで更新されるのが目視できます。スライダーをドラッグすることでも調整できますが、この項目は基本的に楽器の現在のダイナミクスの強さを確認するインジケーターとして使用されます。

③ Vibrato Depth／Speed／Delay (ビブラートの深さ／スピード／ディレイ)

現在のビブラート状態を示す3つのビブラート・インジケータがあります。これらは、設定ページで任意のCCに割り当てられます。ビブラートの深さは、ビブラートの音量の山と谷を意味します。ビブラート・スピードは山と谷のやってくる速さ、ビブラート・ディレイはスクリプト・ビブラート (次項) が効果を発揮するまでのタイムラグを表し、音楽的文脈によって、すぐ効くビブラートと遅れて始まるビブラートを適切に制御するために使用します。

④ ビブラート・モード

私たちはスクリプト・ビブラートを進化させ続けてきましたが、ハーモニカでは、キースイッチによって新たに3つのビブラート・モードをリアルタイムに切り替えられるようになりました。

REALはアンディによる自然なビブラートで、無骨で、ゆったりとした、表現力豊かなラインに最適です。

⚠ このモードでは、ビブラートの深さが64未満の場合、ビブラートのないサンプルが鳴ります。

MANUALは、アフタータッチやCCを使って、ビブラート・サイクル1つずつの速さや深さをコントロールできます (新機能) 。

LFOは通常のビブラートで、他のVIと同様です。

⑤ アーティキュレーション

LONG設定時、フレーズ開始時にサスティンが、連続するフレーズの途中でレガート・トランジションが鳴ります。

SHORT設定時、normalベロシティで短いサンプルが、それ以上のベロシティでは"しゃくった"サンプルがなります。

AUTO設定時、LONGとSHORTのアーティキュレーションをキースイッチなしでコントロールできるもので、短い音符のときスタッカート／ベンド・ショートが、長い音符のとき、サスティン／レガートが鳴ります

⑥ Reverb (リバーブ)

ドロップダウン・メニューからリバーブのIR (インパルス・レスポンス) データを選択し、ダイヤルでウェット感を調整します。

⑦ POLY／MONO (ポリ／モノ) , RR (ラウンドロビン) , STEREO (ステレオ)

MONOモードは、一度に1つの音しか鳴らない従来のレガートです。

POLYモードは、スクリプトによる新しいポリフォニック・レガートで、当社のレガート・トランジションのリアルなサウンドを楽しみながら、複雑なポリフォニック・フレーズを演奏可能です。

RRボタンは、ラウンドロビンを追加して自然さを向上できます (シーケンスまたはランダム) 。

STEREOボタンは、ステレオとモノラルのサンプルを切り替えます。

⑧ AGE (エイジ) ／GRIT (グリット)

AGEは、サウンドに適度のテープ効果を加え、またステレオ幅を狭め、EQを少しかけます。

GRITは、アンプ・モデルを使用し、ブルージーなクランチネスを加えます。

CHUGGER (チャガー) ページ

① 波形ビュー

現在のループ／フレーズの「美しい」波形が表示されます。

② TRIGGER (トリガー・モード) , MIDI SYNC, LOOP (ループ・モード)

トリガー・モードには、CHORD DETECTとROOT NOTEの2種類があります。**CHORD DETECT**モードでは、楽器およびKSの範囲外で演奏されたMaj/Minのトライアドが、Maj/Minのフレーズをトリガーします。**ROOT NOTE**モードでは、楽器およびKSの範囲外で演奏された低ベロシティの音はマイナー・フレーズ、高ベロシティの音はメジャー・フレーズをトリガーします。

MIDI SYNCは、ユーザーがトリガーした瞬間に鳴る**FREE RUNNING**、またはDAW上での次の拍／小節に合うタイミングでフレーズが鳴る**NEXT BEAT/NEXT BAR**が選択可能です。

ループ・モードは、新しいコードのトリガー時の動作を切り替えます。**CONTINUOUS**では、コード・チェンジ時でもループの再生位置が継続的に鳴らされることを意味します。**RESTART**では、コード・チェンジごとにループがリスタートします。

波形ビューの右下の速度変更トグルを使うと、CHUGGERのループ再生速度が1/2 (半分速) 、1X (等速) 、2X (倍速) の間で切り替えられます。

③ Grooves (グルーブ)

各種拍子、フィール (曲調やノリ) 、テンポでブルージーなCHUGGERループを収録しています。各グルーブに22のバリエーションがあるのは、アンディがすべてのキーおよびメジャーとマイナーの演奏を行った成果です。

CONFIGURE (設定) ページ

① Adaptive Legato (アダプティブ・レガート) ／サンプルページ／Dynamics (ダイナミクス)

アダプティブ・レガートの基本的な考え方は、演奏のスピードに応じてトランジションが伸縮することです。この機能により、リリカルなメロディーの演奏時に、美しいゆっくりとしたレガートのトランジションを崩すことなく、速いラン (駆け上がり／駆け下り) を美しく響かせられます。

また、Legato Samples (レガート・サンプル) やRelease Samples (リリース・サンプル) は、不必要ならメモリからアンロードできます。

Dynamics on Velocityは、ダイナミクスをオフにし、CCをベロシティとして使用します。これが選択されているときには、LowとHigh Velocity Thresholds (次項) が無効化されますので注意してください。

② Velocity Thresholds (ベロシティ・スレッショルド)

LowとHighのVelocityアーティキュレーションではGliss, Bend, Softを選択でき、このスライダーでベロシティ・スレッショルドを調整できます。**Soft**は、低ベロシティでのアタック時にわずかな沈み込みがあります。**Normal**は中／低ベロシティでの、**Strong**は中／高ベロシティでのサスティン奏法です。

③ MIDI Control (MIDIコントロール)

ダイナミクスと4つのビブラート・コンポーネントのCCを手動で選択するか、MIDI LEARN (各CC右側のMIDIボタン をクリック後に、お使いのMIDIコントローラーで希望のCCを動かす) します。

アフタータッチ (AT) 機能を持つキーボードでは、マニュアル・ビブラートは非常に直感的で効果的です。

⚠ CCの80〜86はソフト内で特殊な処理に用いられるため、MIDI Controlでは使用しないでください。

④ Legato Responsiveness (レガート反応速度)

開始時間を0〜数百ミリ秒の範囲で調整します。スライダを左側に設定すると、レガートは遅くなりつつリアルなサウンドになります。スライダを右いっぱいに設定すると、レガート・トランジションが聞こえなくなる代わりに、ノートの遅延がなくなります。

⑤ Keyswitches (キースイッチ)

本ソフトの操作性を向上させるため、14個のキースイッチを用意しており、いずれも直感的に操作できるよう楽器の音域のすぐ下に設定してあります。これらのキースイッチ (KS) により、すべてのアーティキュレーションやビブラート・モードを変更できます。「Ghost Key」は、次に演奏するノートが無音であることを確認し、(ソース・ノートからではなく) 無音からトランジション・サンプルをトリガーできるものである点に注意してください。

Long／Short／Auto と Vib: Manual／LFO／Realの隣の鍵マーク を有効にすると、KSはラッチ・モードとして機能します。鍵が解除されているとき、KSはmomentary (暫定) として機能し、KSが解除されればそれ以前のアーティキュレーションに戻ります。鍵マークの上にVELと表示されている場合、KSをトリガーしたベロシティによってKSの動作が変わります (低ベロシティ時にmomentary、高ベロシティ時にラッチ動作) 。

演奏／フレーズのヒント

- ハーモニカが管楽器であることを忘れず、フレーズの隙間に息を吹き込むゆとりを残してください。
- ビブラート・ディレイを活用してください。これは、リアルな演奏を実現するための重要なファクターです。ビブラート・ディレイを変化させれば、ビブラートの音をよりリアルにできます。どのようなフレーズでも、即座に、激しいビブラートをかけることが有効ではありますが、フレージングは、そのスタート・タイミングを遅らせたり徐々に強くすることで、さらに心地よく奏でられます。
- ブルージー・レガートのサンプル・セットは、あなたの演奏に華を添えるためのものです。これらのサンプルは慎重に使用しましょう。
- 特別なサスティンとリリース（ベンド・イン／アウト、グリス・イン／アウト、ストロング・サステイン、トリル）を活用してください。これらは、あなたのフレーズを次のレベルに引き上げる要素です。